

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年5月19日 (2016.5.19)

【公表番号】特表2015-519298(P2015-519298A)

【公表日】平成27年7月9日 (2015.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2015-044

【出願番号】特願2015-503564(P2015-503564)

【国際特許分類】

C 07 C 233/47 (2006.01)

A 23 L 27/20 (2016.01)

A 23 L 27/50 (2016.01)

A 23 C 19/093 (2006.01)

A 23 L 13/00 (2016.01)

A 23 L 13/60 (2016.01)

A 23 L 11/00 (2016.01)

A 23 G 1/00 (2006.01)

A 23 G 1/30 (2006.01)

A 23 L 2/00 (2006.01)

A 23 L 2/38 (2006.01)

C 12 C 5/02 (2006.01)

A 23 L 5/00 (2016.01)

C 07 C 233/52 (2006.01)

C 07 C 233/49 (2006.01)

C 07 C 237/22 (2006.01)

C 07 C 321/14 (2006.01)

C 07 D 207/16 (2006.01)

A 23 C 15/02 (2006.01)

A 23 L 27/60 (2016.01)

A 23 L 23/00 (2016.01)

A 23 L 13/30 (2016.01)

A 21 D 13/00 (2006.01)

A 23 L 19/18 (2016.01)

A 23 L 7/161 (2016.01)

A 23 C 9/156 (2006.01)

A 23 C 9/13 (2006.01)

A 23 C 11/10 (2006.01)

A 23 F 5/24 (2006.01)

A 23 F 3/16 (2006.01)

C 12 G 3/04 (2006.01)

A 23 L 7/10 (2016.01)

【 F I 】

C 07 C 233/47 C S P

A 23 L 1/226 D

A 23 L 1/226 G

A 23 L 1/238 A

A 23 C 19/093

A 23 L 1/31 Z

A 23 L 1/317 A

A 23 L 1/20 Z

A 2 3 G	1/00	
A 2 3 L	2/00	B
A 2 3 L	2/38	P
C 1 2 C	5/02	
A 2 3 L	1/00	H
C 0 7 C	233/52	
C 0 7 C	233/49	
C 0 7 C	237/22	
C 0 7 C	321/14	
C 0 7 D	207/16	
A 2 3 L	1/20	1 0 4 Z
A 2 3 C	15/02	
A 2 3 L	1/24	A
A 2 3 L	1/39	
A 2 3 L	1/313	
A 2 1 D	13/00	
A 2 3 L	1/217	
A 2 3 L	1/18	
A 2 3 C	9/156	
A 2 3 C	9/13	
A 2 3 C	11/10	
A 2 3 F	5/24	
A 2 3 F	3/16	
C 1 2 G	3/04	
A 2 3 L	1/10	E

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月25日(2016.3.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

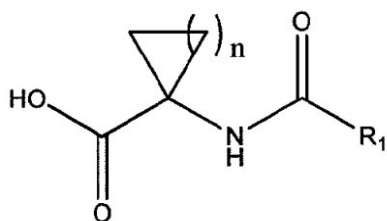
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a)

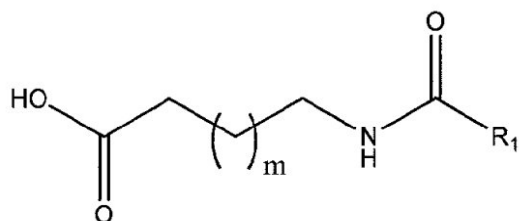
【化1】



式中、 n は 1、2、3 または 4 である、
 で表される化合物；

(b)

【化 2】

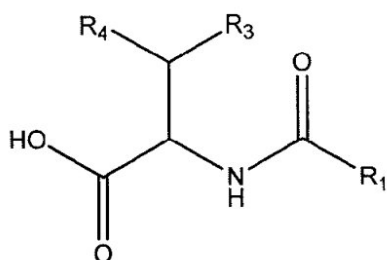


式中、 m は0または1であり； R_1 は、それが付着されているカルボニル基と共に、ガンマアミノ酪酸（GABA）およびベータアラニンから選択されるカルボン酸の残基である

で表される化合物；

(c)

【化 3】

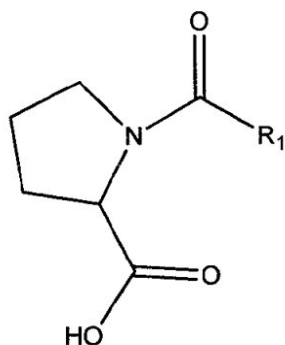


式中、 R_3 は水素またはメチルであり、 R_4 はメチル、エチル、またはイソプロピルである、

で表される化合物；

(d)

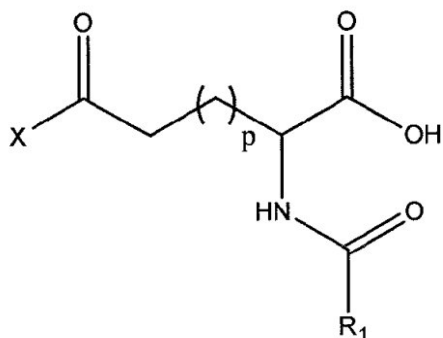
【化 4】



で表され、N - ゲラノイル - Pro、N - パルミトイル - Pro、N - ステアロイル - Pro、N - リノレオイル - ProおよびN - リノレノイル - Proから選択される化合物；

(e)

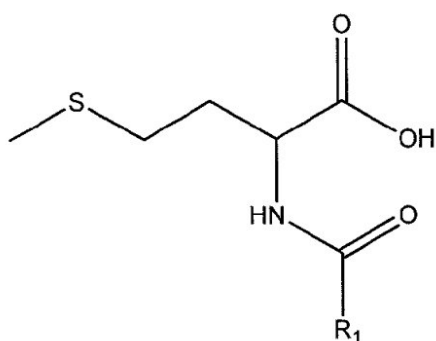
【化 5】



式中、XはOHまたはNH₂であり、およびPは0または1である、
で表される化合物；

(f)

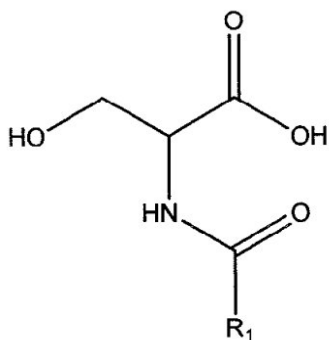
【化 6】



で表され、N - ゲラノイル - Met、N - パルミトイル - Met、N - パルミテノイル - Met、N - ステアロイル - Met、N - リノレオイル - Met および N - リノレノイル - Met から選択される化合物；および

(g)

【化 7】



で表される化合物；

これらの式中、

R₁は、6～20個の炭素原子を含むアルキル残基、または1～6個の二重結合を有する9～25個の炭素原子を含むアルケン残基であり、R₁はそれが結合しているカルボニル基と共に、カルボン酸の残基である、
からなる群から選択される化合物および/またはその塩を含む、フレーバー組成物。

【請求項 2】

化合物が、N - パルミトイル 1 - アミノ - シクロプロピルカルボン酸 (C₁₆:0 - ACCA)、N - ステアロイル 1 - アミノ - シクロプロピルカルボン酸 (C₁₈:0 - ACCA)、N - リノレオイル 1 - アミノ - シクロプロピルカルボン酸 (C₁₈:2 - ACCA)

A)、N-リノレノイル1-アミノ-シクロプロピルカルボン酸(C18:2-ACCA)、N-オレオイル1-アミノ-シクロプロピルカルボン酸(C18:1-ACCA)、N-(9-パルミテノイル)1-アミノ-シクロプロピルカルボン酸(C16:1-ACCA)、N-デカノイル1-アミノ-シクロプロピルカルボン酸(C10:0-ACCA)およびN-ゲラノイル1-アミノ-シクロプロピルカルボン酸(C10:2-ACCA)；C10-GABA、C12-GABA、C14-GABA、C16-GABA、C18-GABA；C18:2ベータAla；N-パルミテノイル-L-ロイシン、N-パルミトイル-L-ロイシン、N-リノレノイル-L-ロイシン、N-リノレオイル-L-ロイシンおよびN-オレオイル-L-ロイシン；N-オレオイル-Ile；N-パルミテノイル-L-バリン、N-パルミトイル-L-バリン、N-リノレノイル-L-バリン、N-リノレオイル-L-バリンおよびN-オレオイル-L-バリン；N-ゲラノイル-Pro、N-パルミテネオイル-Pro、N-ステアロイル-Pro、N-リノレオイル-ProおよびN-リノレノイル-Pro；N-ゲラノイル-Glu、N-パルミトイル-Glu、N-パルミテノイル-Glu、N-ステアロイル-Glu、N-リノレオイル-GluおよびN-リノレノイル-Glu；N-ゲラノイル-Asp、N-パルミトイル-Asp、N-パルミテノイル-Asp、N-ステアロイル-Asp、N-リノレオイル-AspおよびN-リノレノイル-Asp；N-ゲラノイル-Gln、N-パルミトイル-Gln、N-パルミテノイル-Gln、N-ステアロイル-Gln、N-リノレオイル-GlnおよびN-リノレノイル-Gln；N-ゲラノイル-Asn、N-パルミトイル-Asn、N-パルミテノイル-Asn、N-ステアロイル-Asn、N-リノレオイル-AsnおよびN-リノレノイル-Asn；N-ゲラノイル-Met、N-パルミトイル-Met、N-パルミテノイル-Met、N-ステアロイル-Met、N-リノレオイル-MetおよびN-リノレノイル-Met；N-パルミトイル-Ser、N-パルミテノイル-Ser、N-ステアロイル-Ser、N-リノレオイル-SerおよびN-リノレノイル-Ser；N-オクタノイル-L-フェニルアラニン、N-エイコサノイル-L-フェニルアラニン、N-パルミトレオイル-L-フェニルアラニン、N-パルミトイル-L-フェニルアラニン、N-リノレノイル-L-フェニルアラニン、N-リノレオイル-L-フェニルアラニン、N-オレオイル-L-フェニルアラニン、N-SDA-L-フェニルアラニン、N-DPA-L-フェニルアラニン、およびN-テトラコサヘキサエノイル-L-フェニルアラニン；N-パルミトイル-L-アラニン、N-リノレノイル-L-アラニン、N-リノレオイル-L-アラニン、N-パルミトイル-L-チロシン、N-リノレオイル-L-チロシン、N-オレオイル-L-チロシン、N-リノレノイル-L-チロシン；N-パルミトイル-L-トリプトファン、N-リノレノイル-L-トリプトファン、N-リノレオイル-L-トリプトファン；およびN-リノレオイル-グリシン、
 からなる群から選択される、請求項1に記載のフレーバー組成物。

【請求項3】

糖類、脂肪、塩、MSG、カルシウムイオン、リン酸イオン、有機酸、タンパク質、プリン類およびそれらの混合物からなる群から選択される少なくとも1つのフレーバー成分を含む、請求項1または2に記載のフレーバー組成物。

【請求項4】

さらに、担体材料および/またはアジュバントを含む、請求項3に記載のフレーバー組成物。

【請求項5】

アジュバントが抗酸化剤である、請求項4に記載のフレーバー組成物。

【請求項6】

エマルジョン形態の、請求項1～5のいずれか一項に記載のフレーバー組成物。

【請求項7】

粉末形態の、請求項1～5のいずれか一項に記載のフレーバー組成物。

【請求項8】

噴霧乾燥粉末形態の、請求項7に記載のフレーバー組成物。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載のフレーバー組成物を含む、食用組成物。

【請求項 10】

請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載のフレーバー組成物を含み、スクロース、高フルクトースコーンシロップ、フルクトースおよびグルコースから選択される炭水化物甘味料、またはアスパルテーム、アセスルファム K、スクラロース、シクラマート、ナトリウムサッカリン、ネオテーム、レバウジオシド A、および / または他のステビアベースの甘味料から選択される高強度非栄養甘味料を含有する、カロリーまたはノンカロリー飲料。

【請求項 11】

請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載のフレーバー組成物を含む、大豆ベースの食用組成物。

【請求項 12】

エタノール、トリアセチン、グリセロールおよびミグリオールから選択される溶媒中に、請求項 1 において定義された化合物を 0.01 ～ 1 重量% 含有する、貯蔵液。

【請求項 13】

請求項 1 において定義された化合物の、食用組成物中の食品フレーバー成分としての使用。